



ShinEtsu

信越ポリマー株式会社
証券コード：7970

2019年3月期第2四半期

決算説明会資料

2018年11月7日

目次

1. 連結業績のポイント
2. 連結業績サマリー
3. 連結業績の推移
4. セグメント別業績サマリー
5. セグメント別業績
 - ・ 電子デバイス
 - ・ 精密成形品
 - ・ 住環境・生活資材
6. 財務諸表
 - ・ 比較貸借対照表
 - ・ 比較損益計算書
 - ・ キャッシュフロー計算書

7. 通期業績予想
8. セグメント別業績予想
9. 設備投資・減価償却費・研究開発費

【会社概要】

プロフィール
技術展開
主要製品
グローバルネットワーク

【参考資料】

主要な経営指標の推移
セグメント別四半期業績の推移
配当金の推移
本資料に関する注意事項

1. 連結業績のポイント

- **半導体業界の活況継続が追い風
自動車業界の需要も順調に推移**
- ① **自動車関連入カデバイスが好調**
- ② **半導体関連容器が伸長し、OA機器用部品が伸び悩み**
- ③ **新規素材系製品が伸長**

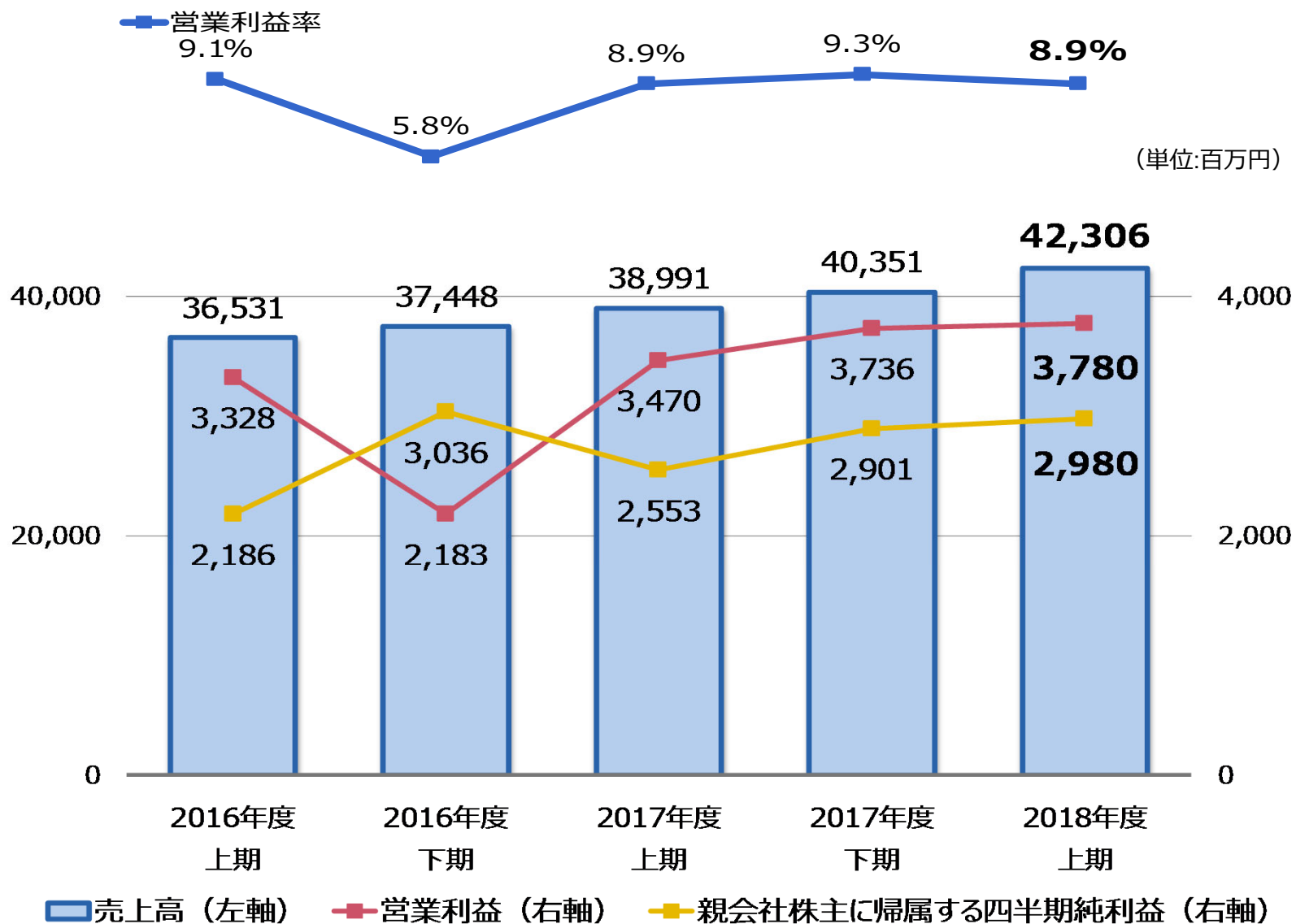
2. 連結業績サマリー

(単位：百万円)

	2017年度上期	2018年度上期	前年比較	
			増減額	増減率
売上高	38,991	42,306	3,315	8.5%
営業利益	3,470	3,780	310	8.9%
経常利益	3,637	4,177	540	14.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,553	2,980	427	16.7%
1株当たり四半期純利益	31.1 円	36.5 円	5.4 円	17.5%
1株当たり中間配当金	6.0 円	8.0 円	2.0 円	33.3%
為替レート (／US\$)	1-6月平均	112.4 円	108.7 円	-
	4-9月平均	111.1 円	110.3 円	-

※ 為替レートの1-6月平均は、海外子会社の損益を連結するときに使用

3. 連結業績の推移

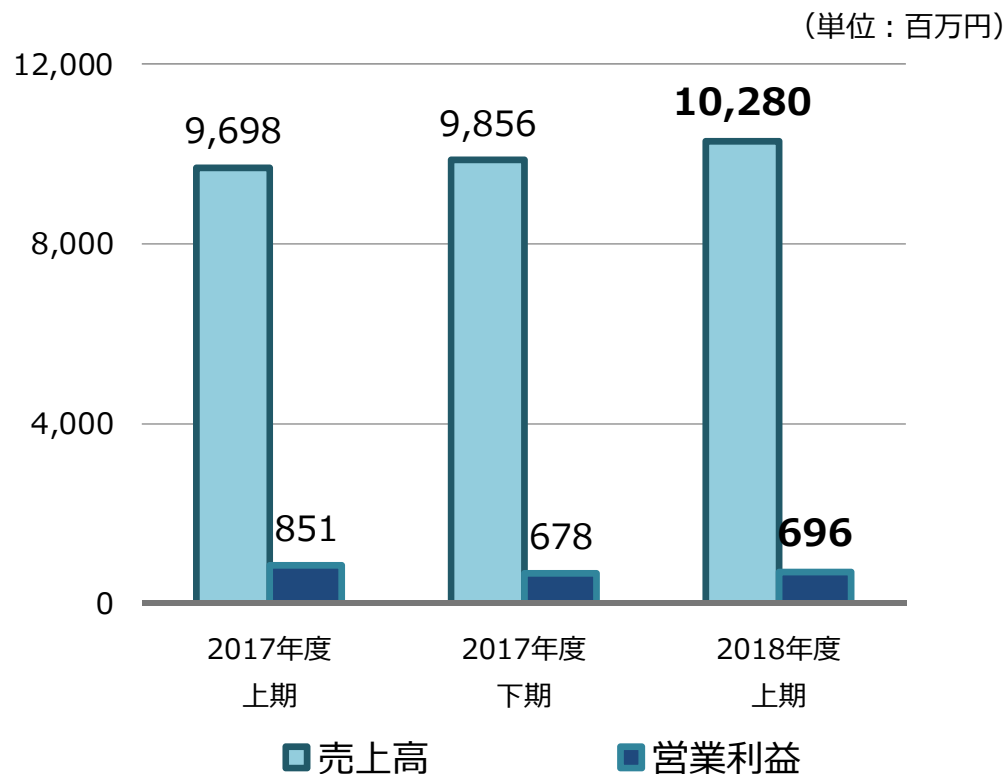


4. セグメント別業績サマリー

(単位：百万円)

	売上高				営業利益			
	2017年度 上期	2018年度 上期	前年比較		2017年度 上期	2018年度 上期	前年比較	
			増減額	増減率			増減額	増減率
電子デバイス	9,698	10,280	582	6.0%	851	696	△ 155	△ 18.2%
精密成形品	16,770	18,452	1,682	10.0%	2,508	2,764	256	10.2%
住環境・生活資材	9,094	9,790	696	7.7%	80	189	109	136.3%
その他	3,428	3,782	354	10.3%	29	129	100	344.8%
合計	38,991	42,306	3,315	8.5%	3,470	3,780	310	8.9%

5. セグメント別業績 電子デバイス



■ 入力デバイス関連製品

自動車用キースイッチ、タッチスイッチが好調。
薄型ノートPC用タッチパッドが低調。

■ ディスプレイ関連製品

液晶接続用コネクタが低調。
VCFが光学用途で実績化。

■ コンポーネント関連製品

電子部品検査用コネクタが回復基調。

5. セグメント別業績 電子デバイス



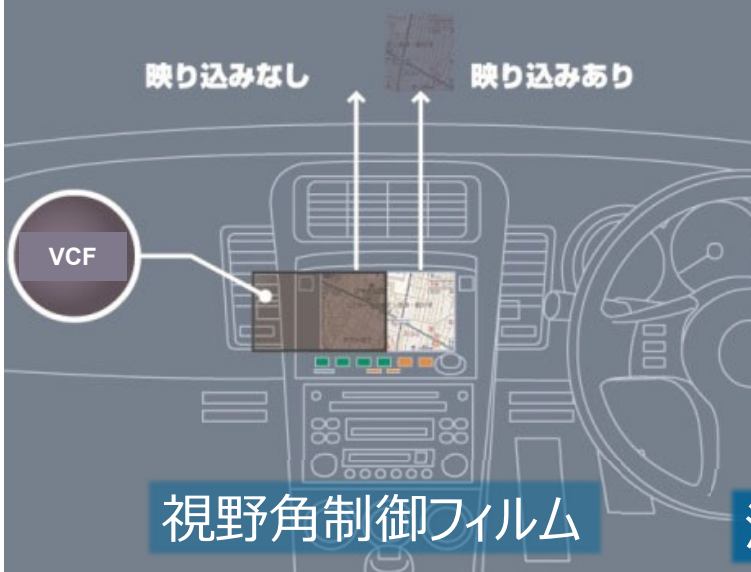
キースイッチ（自動車）



タッチスイッチ（自動車）



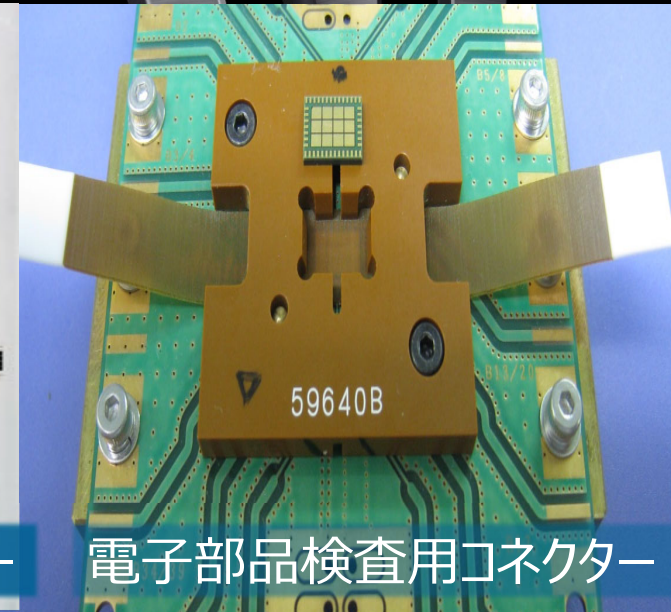
映り込みなし 映り込みあり



視野角制御フィルム

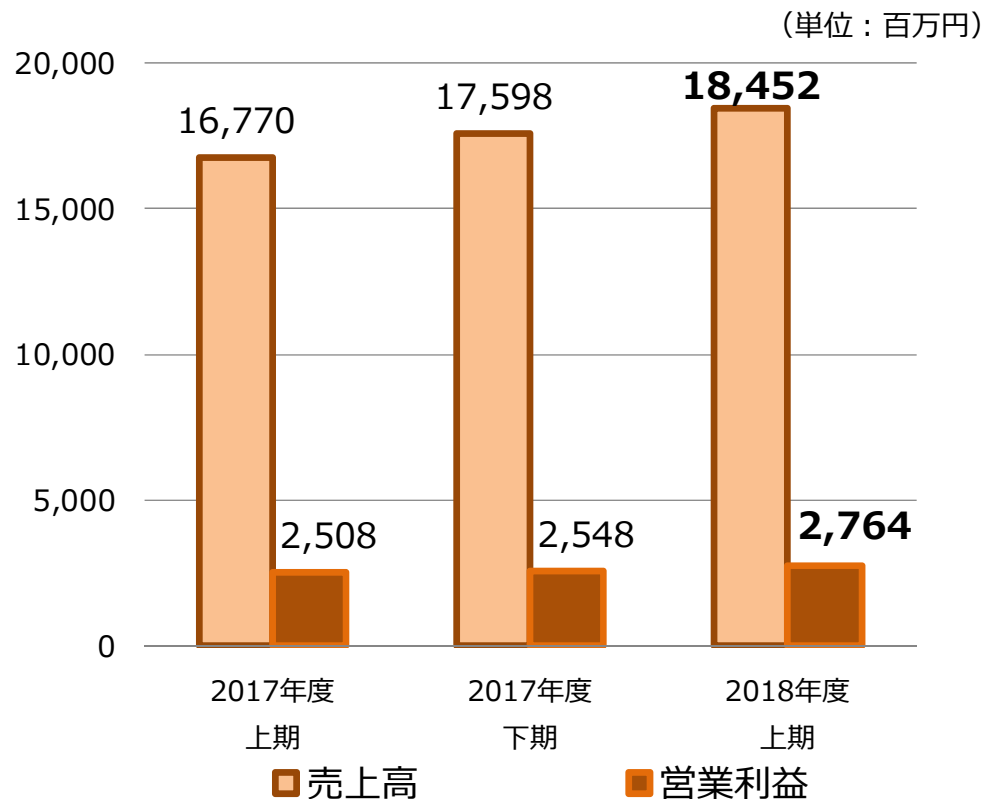


液晶接続用コネクタ



電子部品検査用コネクタ

5. セグメント別業績 精密成形品



■ 半導体関連容器

300mm、小口径ウェハー用とも増販。
工程内容器が好調だった。

■ OA機器用部品

主力の現像ローラが伸び悩み。

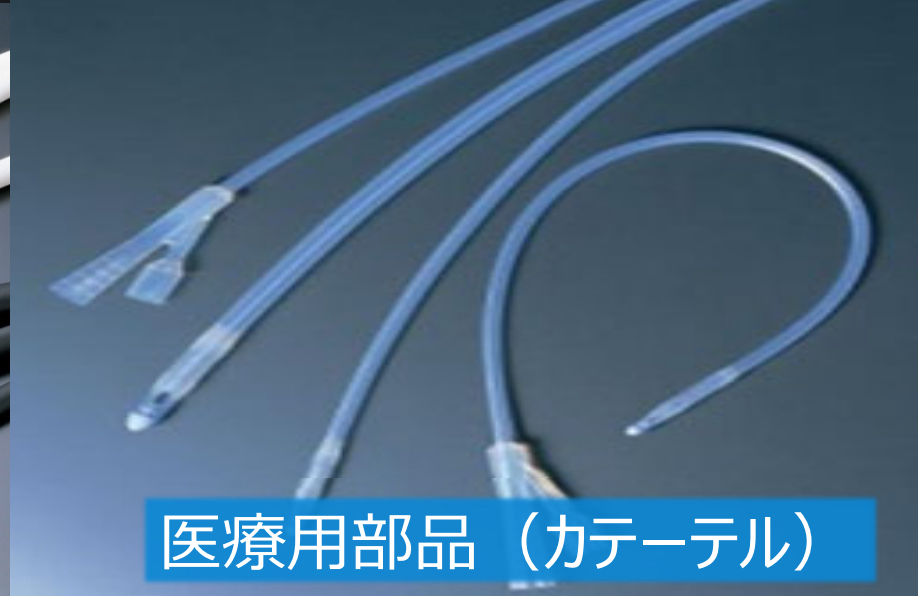
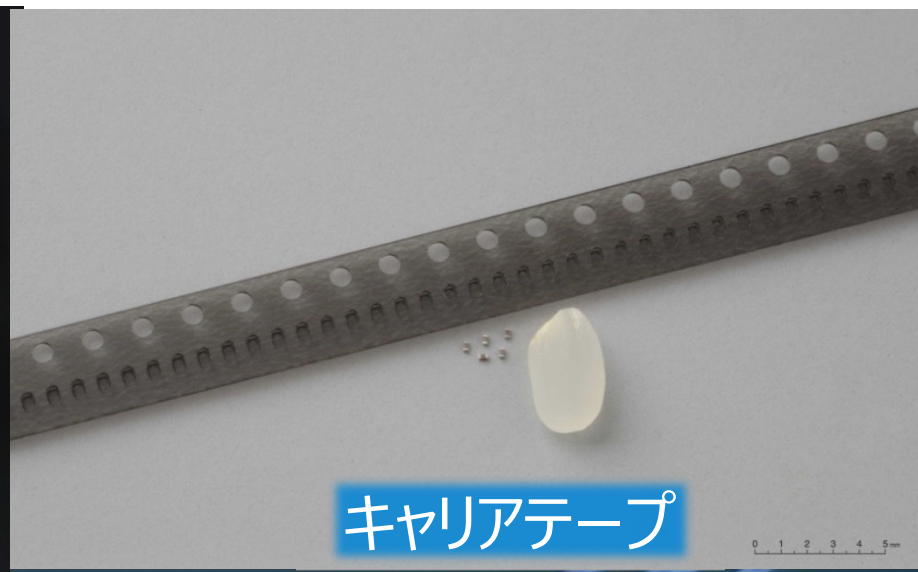
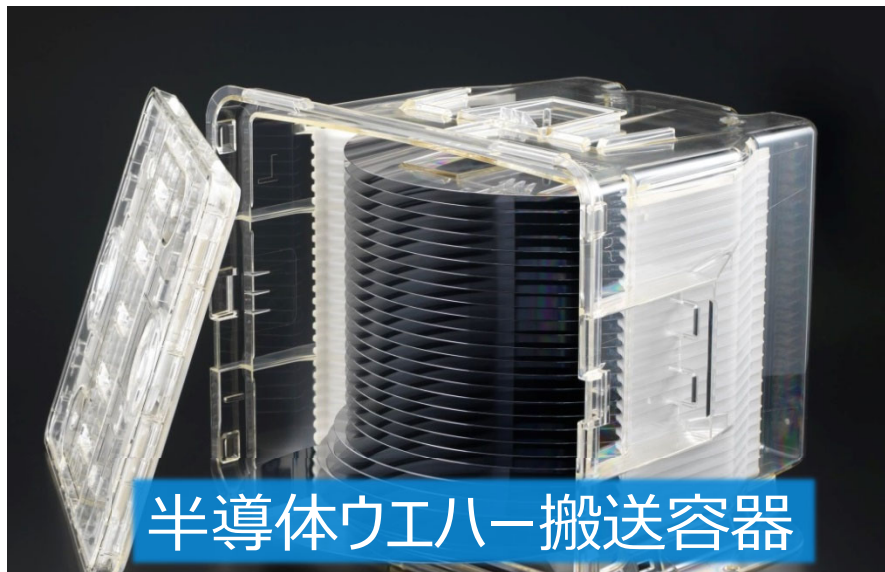
■ キャリアテープ関連製品

半導体用が好調、微細電子部品用も回復。

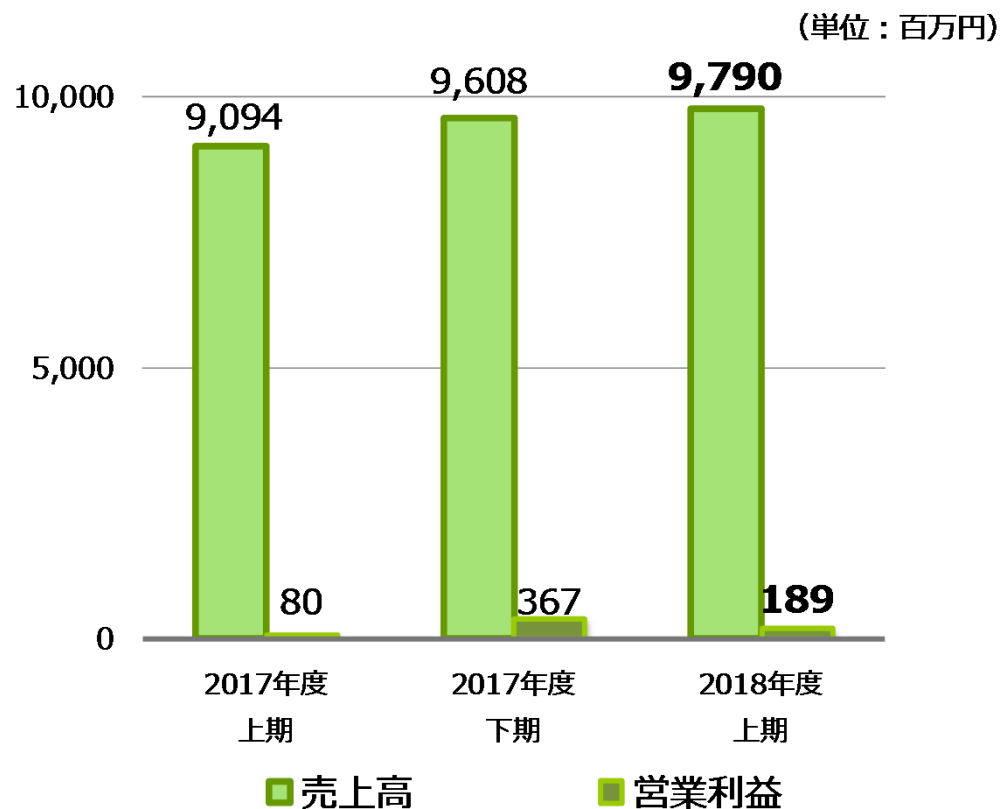
■ シリコンゴム成形品

メディカル関連が堅調。

5. セグメント別業績 精密成形品



5. セグメント別業績 住環境・生活資材



■ ラッピングフィルム

一部価格改定もスーパー向け、外食産業向けともに伸び悩み。

■ 塩ビパイプ関連製品

出荷量伸びず、価格改定進まず収支悪化。

■ 機能性コンパウンド

自動車用、ロボットなどの工作機械ケーブル用が好調。

■ 素材系製品

導電性ポリマーが電子部品用途で急成長。

5. セグメント別業績 住環境・生活資材



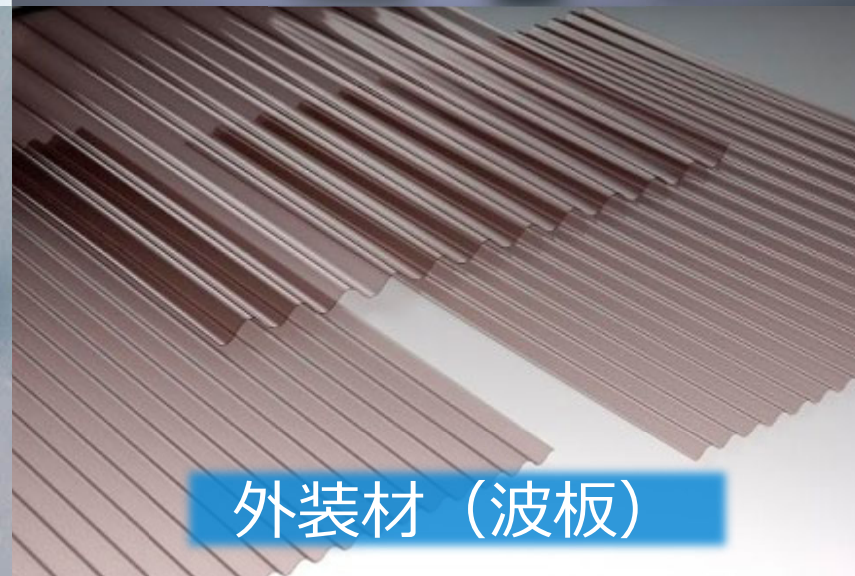
ラッピングフィルム



塩ビパイプ



機能性コンパウンド



外装材（波板）

6. 財務諸表 比較貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年3月末	2018年9月末	増減額
流動資産	現金・預金	43,107	△ 1,322
	受取手形・売掛金	19,358	1,683
	たな卸資産	10,595	△ 272
	その他	4,751	△ 445
	計	77,813	△ 356
固定資産	有形固定資産	22,200	1,206
	無形固定資産	174	3
	その他	3,478	△ 157
	計	25,854	1,051
資産合計	103,667	104,363	696
流動負債	支払手形・買掛金	13,667	△ 1,739
	短期借入金	0	0
	その他	10,487	1,163
	計	24,155	△ 577
固定負債	長期借入金	0	0
	退職給付に係る負債	1,675	△ 195
	その他	326	△ 70
	計	2,001	△ 265
負債合計	26,156	25,315	△ 841
純資産合計	77,510	79,048	1,538
負債・純資産合計	103,667	104,363	696

6. 財務諸表 比較損益計算書

(単位：百万円)

	2017年度上期	2018年度上期	増減額	増減率
売上高	38,991	42,306	3,315	8.5%
売上原価	26,843	29,289	2,446	9.1%
販売費・一般管理費	8,677	9,235	558	6.4%
営業利益	3,470	3,780	310	8.9%
営業外収益	206	416	210	101.9%
営業外費用	39	20	△ 19	△ 48.7%
経常利益	3,637	4,177	540	14.8%
特別利益	0	0	0	-
特別損失	0	0	0	-
税金等調整前当期純利益	3,637	4,177	540	14.8%
法人税・住民税・事業税	971	1,142	171	17.6%
法人税等調整額	112	53	△ 59	△ 52.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,553	2,980	427	16.7%

6. 財務諸表 キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2017年度上期	2018年度上期
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,812	3,228
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,528	△ 3,614
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 477	△ 464
現金及び現金同等物の期末残高	41,894	40,677

7. 通期業績予想

(単位：百万円)

	2017年度	2018年度 (予想)	増減額	増減率
売上高	79,343	83,000	3,657	4.6%
営業利益	7,206	7,700	494	6.9%
経常利益	7,274	8,000	726	10.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,455	5,700	245	4.5%
1株当たり当期純利益	66.5 円	69.9 円	3.4 円	5.1%
1株当たり年間配当金	12.0 円	16.0 円	4.0 円	33.3%

8. セグメント別業績予想

(単位：百万円)

売上高	2017年度	2018年度 (予想)	増減額	増減率
	電子デバイス	19,554	20,500	946
精密成形品	34,369	35,500	1,131	3.3%
住環境・生活資材	18,703	19,500	797	4.3%
その他	6,715	7,500	785	11.7%
合計	79,343	83,000	3,657	4.6%
営業利益	2017年度	2018年度 (予想)	増減額	増減率
	電子デバイス	1,529	1,600	71
精密成形品	5,057	5,300	243	4.8%
住環境・生活資材	448	500	52	11.6%
その他	171	300	129	75.4%
合計	7,206	7,700	494	6.9%

9. 設備投資・減価償却費・研究開発費

(単位：百万円)

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度 (予想)
設備投資	4,424	3,721	5,420	5,500
減価償却費	3,315	2,872	3,011	3,200
研究開発費	3,609	3,572	3,382	4,000

<設備投資トピックス>

- ◆ 糸魚川工場拡張：7月竣工式、12月稼働開始予定
- ◆ インド社工場増能力：12月キースイッチ設備能力20%アップ



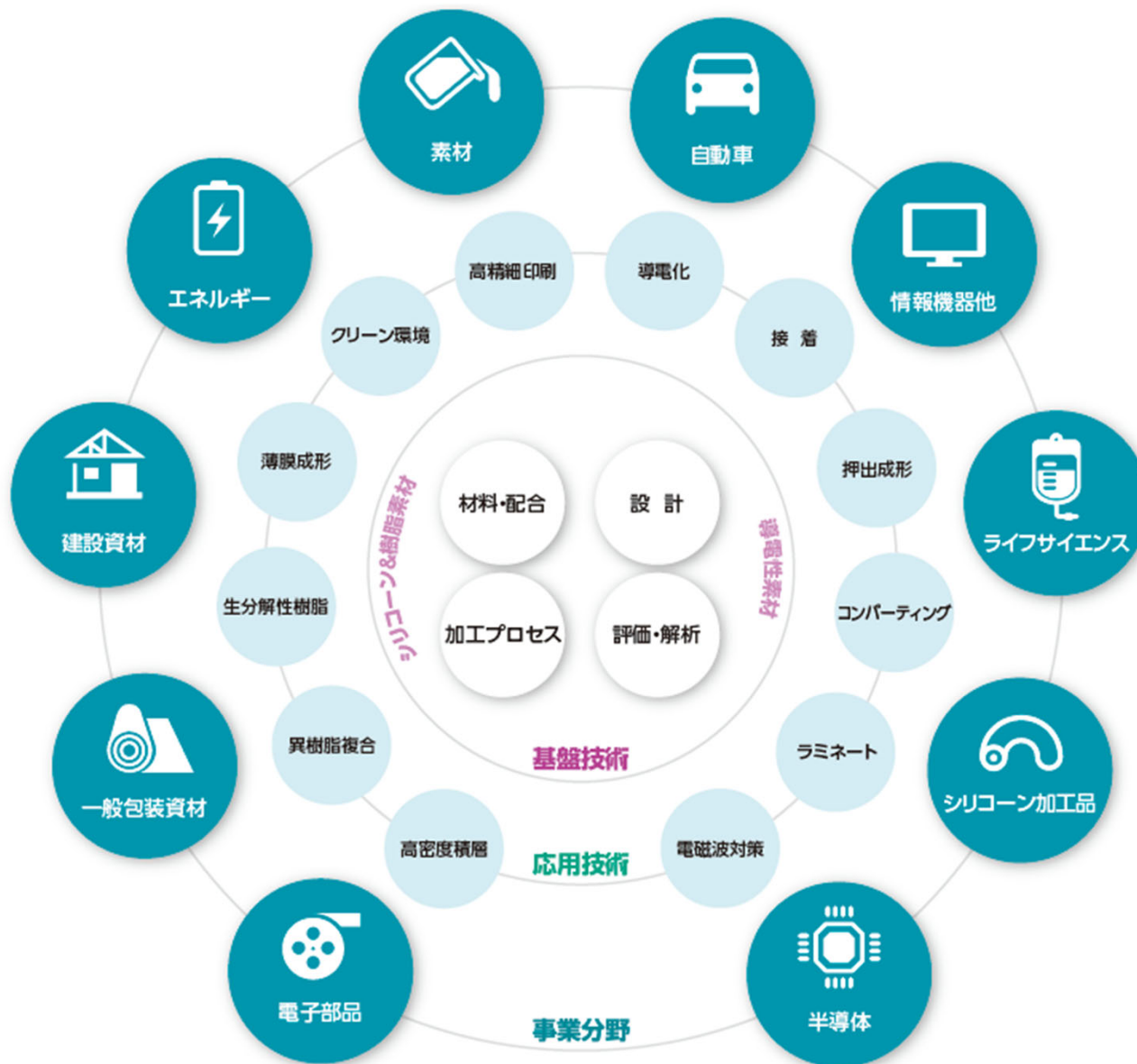
会社概要

信越ポリマーは、1960年に塩ビ加工メーカーとして設立以来、シリコンなどの各種樹脂の「材料配合」、「設計」、「加工プロセス」、「評価・解析」の基盤技術の応用展開に努めてきました。

現在、樹脂加工メーカーとして、自動車、情報機器関連から半導体、建設関連に至る幅広い分野で、お客様の多様なニーズにお応えしています。

設立	1960年9月15日、信越化学工業株式会社の出資により設立。
主な事業	塩化ビニル樹脂およびシリコンゴム等を主原料とした製品の製造・販売。電子・電気機器関連から建設関連まで、幅広い分野で事業を展開。
資本金	116億3,595万円
連結子会社数	14社
従業員数	4,549名（連結）、1,043名（単独）（2018年9月30日現在）

【会社概要】技術展開



樹脂加工メーカーとしての技術力を強みに多様な領域に製品を展開

電子デバイス事業

- 入力デバイス
- ディスプレー関連デバイス
- コンポーネント関連製品



精密成形品事業

- 半導体関連容器
- キャリアテープ関連製品
- OA機器用部品
- シリコンゴム成形品



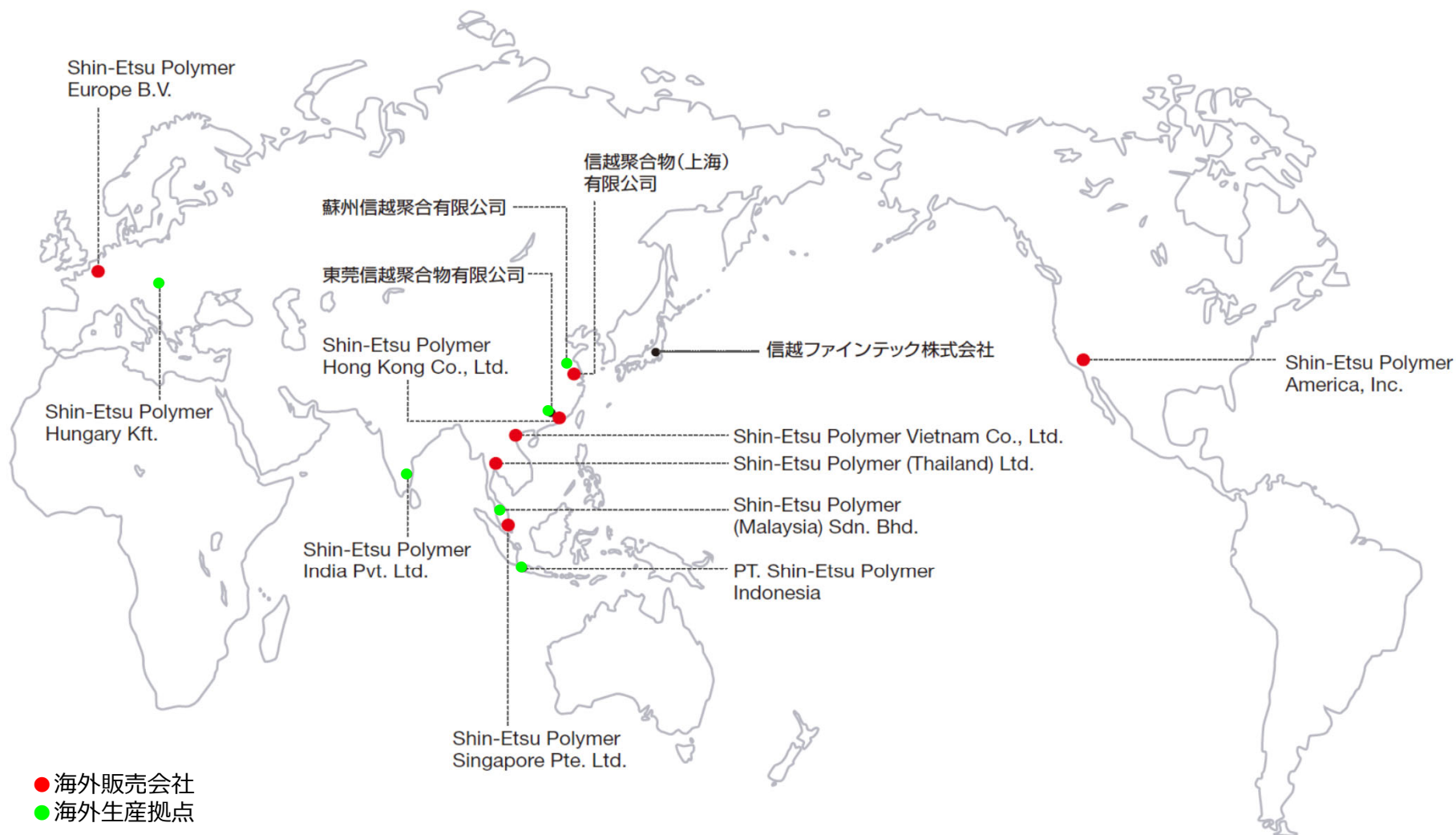
住環境・生活資材事業

- ラッピングフィルム
- 機能性コンパウンド
- 塩ビパイプ関連製品
- 外装材関連製品



グローバルなニーズへの対応力

(2018年9月30日現在)





參考資料

【参考資料】主要な経営指標の推移

(単位：百万円)

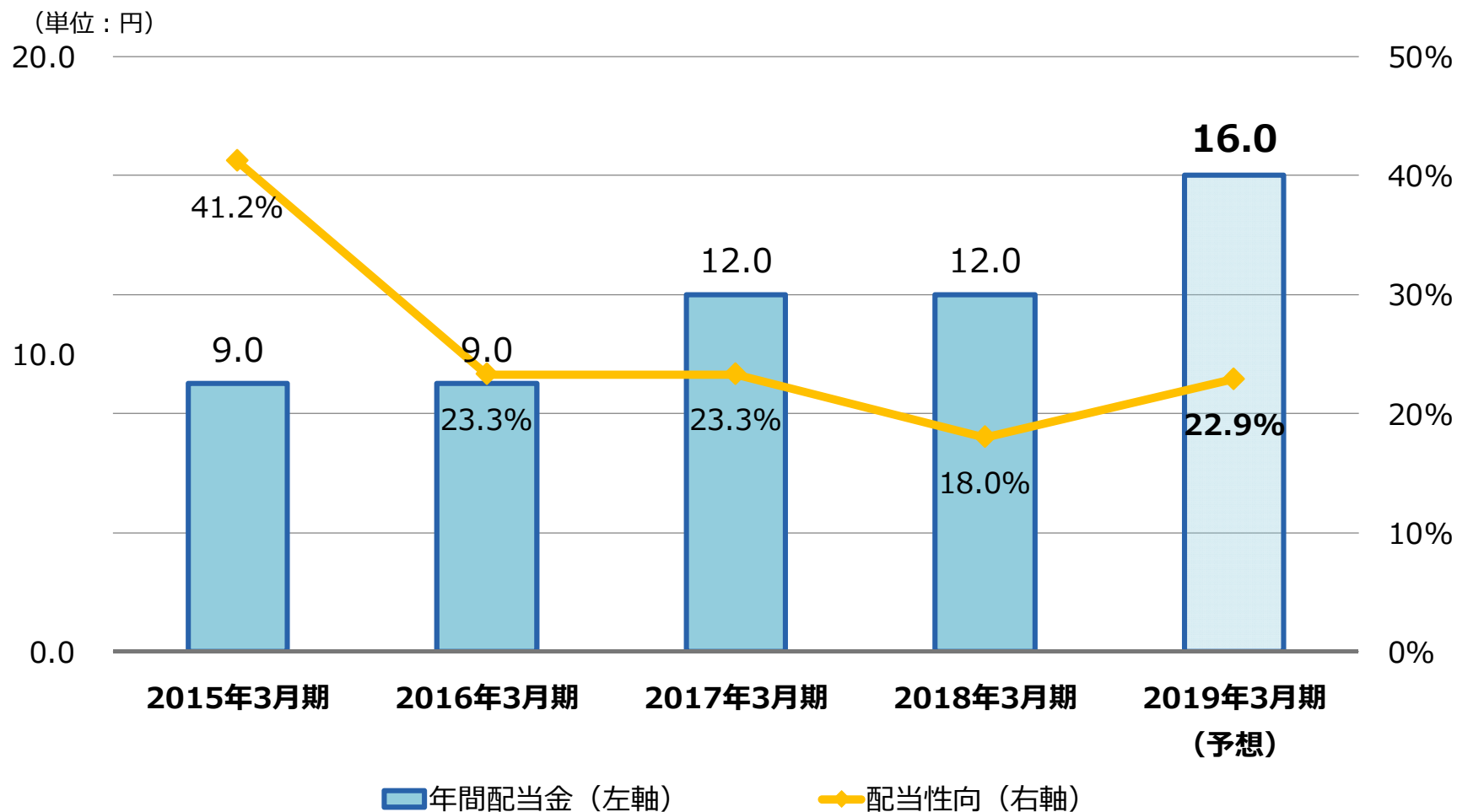
	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
売上高	67,332	71,707	75,039	73,979	79,343
営業利益	1,314	2,231	4,101	5,511	7,206
経常利益	1,662	2,865	4,532	5,934	7,274
親会社株主に帰属する当期純利益	720	1,777	3,151	4,230	5,455
総資産	88,644	93,889	92,845	96,061	103,667
純資産	68,088	72,250	71,253	72,890	77,510
自己資本比率	75.7%	76.0%	76.7%	75.8%	74.6%
1株当たり当期純利益(円)	8.86	21.85	38.55	51.60	66.48
1株当たり年間配当金(円)	9.00	9.00	9.00	12.00	12.00
売上高営業利益率	2.0%	3.1%	5.5%	7.5%	9.1%
ROE (株主資本純利益率)	1.1%	2.6%	4.4%	5.9%	7.3%
ROA (総資産経常利益率)	2.2%	3.1%	4.9%	6.3%	7.3%
従業員数(人)	3,628	3,962	3,942	4,144	4,407

【参考資料】セグメント別四半期業績の推移

(単位：百万円)

		2018年3月期					2019年3月期			
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	1Q	2Q	上期
電子デバイス	売上高	4,821	4,876	9,698	5,011	4,844	9,856	4,968	5,311	10,280
	営業利益	397	453	851	325	352	678	316	380	696
精密成形品	売上高	8,093	8,677	16,770	8,675	8,923	17,598	9,070	9,382	18,452
	営業利益	1,180	1,328	2,508	1,330	1,218	2,548	1,338	1,425	2,764
住環境・ 生活資材	売上高	4,387	4,707	9,094	4,988	4,620	9,608	4,954	4,835	9,790
	営業利益	36	44	80	167	200	367	90	99	189
その他	売上高	1,681	1,746	3,428	1,622	1,664	3,287	1,703	2,078	3,782
	営業利益	68	△ 38	29	104	36	141	68	61	129
合計	売上高	18,983	20,008	38,991	20,298	20,053	40,351	20,697	21,608	42,306
	営業利益	1,682	1,787	3,470	1,928	1,807	3,736	1,813	1,966	3,780

【参考資料】配当金の推移





本資料に関する注意事項

本決算説明会資料に記載されている、信越ポリマーの現在の計画、戦略など歴史的事実ではないものは、将来に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでいます。したがって、実際には、事業を取り巻く経済情勢や市場環境、為替相場、需要動向の変動など、さまざまな要因によって記述とは大きく異なる結果が生じる可能性があります。

※ 本決算説明会資料の財務データは、単位未満の金額については、切り捨てにより表示しています。